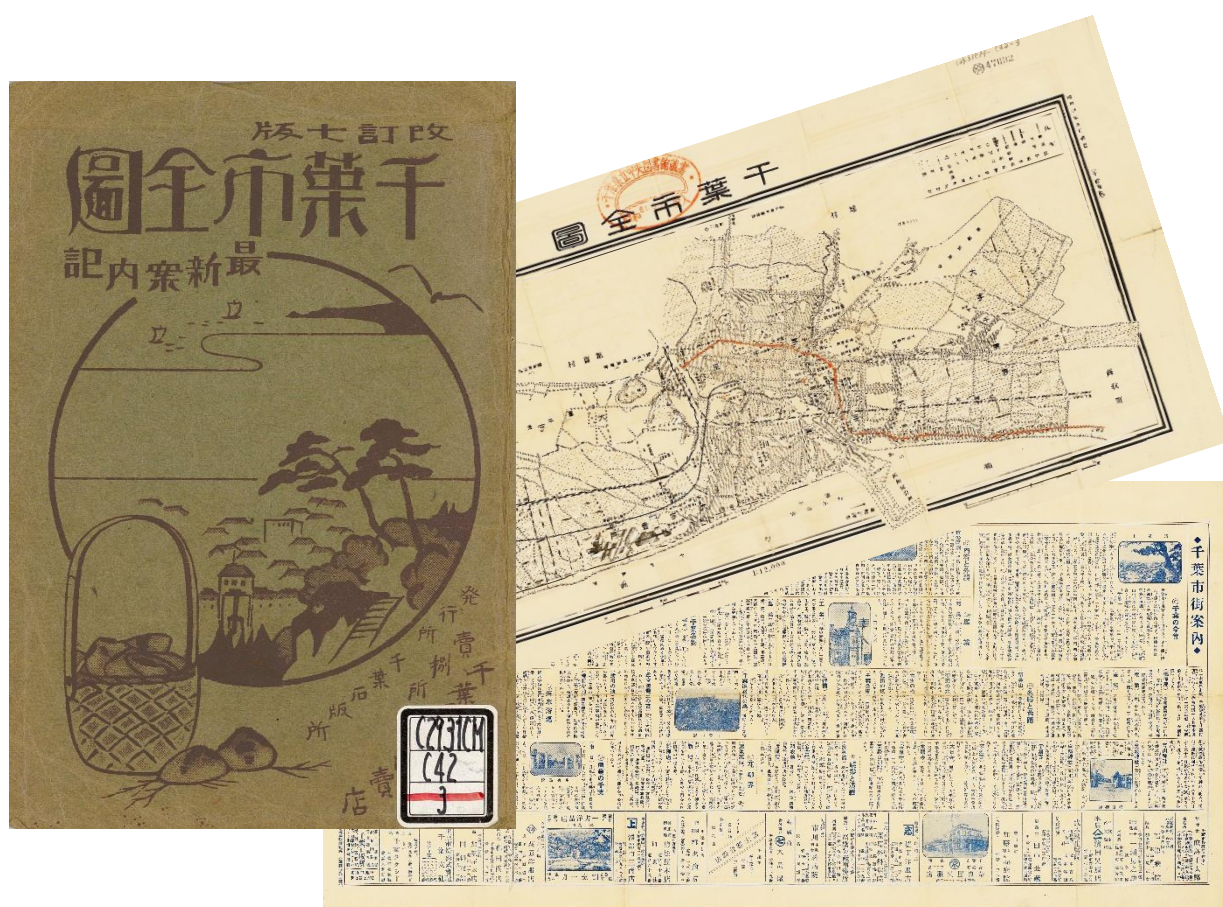


千葉文化

CHIBA PREFECTURAL CENTRAL LIBRARY
千葉県立中央図書館報



資料散策 69

『千葉市全図 最新案内記』 千葉石版印刷所 1929年


昭和4年当時の千葉市最新案内記です。折りたためばハガキ大の持ち運びやすいサイズで、片面は千葉市の地図、もう片面は千葉市街案内となっています。市内の主な施設や名勝、千葉名物などが紹介されており、「県立図書館」も千葉県庁の近くにあったことが分かります。

出版者の千葉石版印刷所はこの資料のほか、安房地方の関東大震災からの復興を伝える『復興の房州』（白鳥秋畝著 千葉石版印刷所 1924）という観光案内書も出版しています。

『千葉市全図 最新案内記』は、千葉県立図書館ホームページ「菜の花ライブラリー」でもご覧いただけます。

県立図書館の非来館型サービスのご案内

県立図書館では、ご自宅から図書館が遠い方、図書館の開館時間に来館ができない方などでも図書館サービスをご利用になれるよう、以下のようなサービスを実施しています。

詳しいご案内はこちらから 

<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/guide/guide.html>

[↑ トップ](#) [図書館のご案内](#) [共通利用案内](#)

資料貸出券の郵送登録サービス（有料）

千葉県内に在住・在勤・在学の方に限り、郵送により資料貸出券を作ることができます。

資料貸出券を作ると、貸出資料の郵送サービス（有料）も利用できるようになります。また、Web上で図書の予約や貸出資料の延長などができるマイライブラリーにログインするために必要な仮パスワードの申し込みも、郵送により行えるようになりました。



貸出資料の郵送サービス（有料）

千葉県立図書館所蔵の資料のうち貸出可能な資料を、郵送により借りることができます(参考書、新聞、雑誌、視聴覚資料は貸し出しができません)。

※利用できるのは、千葉県立図書館の資料貸出券の有効登録者の方に限ります
(資料貸出券は、3年間貸出しの利用がない場合、失効します)。

(1)氏名、(2)資料貸出券の番号、(3)希望する資料の①タイトル、②資料番号、③著者名、④出版者名、⑤出版年、(4)申込館を明記の上、郵便・FAX・メールでお申し込みください。なお、申込みは資料の所蔵館で受け付けていますので蔵書検索にて所蔵館をご確認ください。



郵送による複写サービス（有料）

県立図書館が所蔵する資料を、著作権法などで認められている範囲内で複写し、郵送します。資料名・複写する箇所・連絡先（住所・氏名・電話番号など）を記載したものを、郵送又はFAXで申し込んでください。なお、複写料金と送料は前払いです。



メールレファレンスサービス

知りたい資料や情報を、図書・雑誌・新聞・電子情報などから探すためのご案内をして、資料提供や情報提示により調べもののお手伝いをしています。



図書館から世界（ニュース）が見える

世の中で話題になっているニュースなどについて知り、考えるためのヒントを得られるような、資料情報をご紹介します。



調べ方案内（パスファインダー）

あるテーマや話題について資料や情報を探したいときの参考に、手始めとなる基本資料の一部や、調べ方を紹介しています。



📖 「～文庫」とは

「文庫」というと、「文庫本」や「学級文庫」などを思い浮かべる方もいるかもしれませんが。図書館では、あるまとまった蔵書を「～文庫」として保管することがあります。

歴史的な資料を数多く所蔵している中央図書館では、創立当時、県下蔵書家の賛同を得て、図書保存のために特に記念文庫を設け、寄贈又は委託を受けたことを始まりとして、いくつかの「文庫」を所蔵しています。

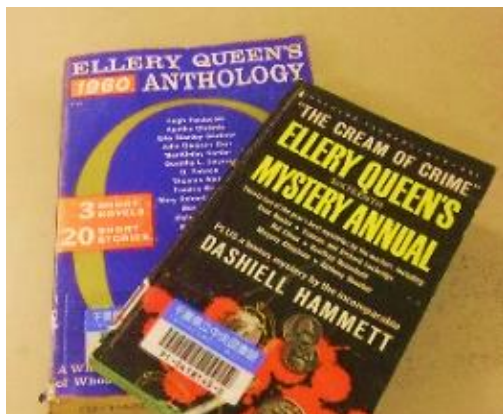
例えば、「日高誠実文庫」は昭和53年に漢学者・日高誠実氏の子孫より寄贈され、漢籍と国書が中心の文庫であり、「市原蒼海文庫」は、教育家・市原蒼海氏の蔵書のうち本人から寄贈されたものと没後に遺族から寄贈されたもので、易学や漢詩関係の資料が中心の文庫です。洋書が多数を占める文庫もあり、それが今回ご紹介する「中田耕治文庫」です。



📖 「中田耕治文庫」とは、

昭和51年に千葉市在住の作家中田耕治氏（昭和2 - 令和3年）より寄贈を受けたものです。中田耕治氏には地元ということもあり、当時の中央図書館主催の文学講座や著者を囲む会などの講師でご協力をいただきました。

当時、寄贈されたのは3,111冊で、そのうち2,454冊が洋書であり、その大部分がミステリー関係の小説、シリーズ、雑誌などで占められています。ペーパーバック装新書版が大部分ですが、コナン・ドイルをはじめエラリー・クイーンやマージェリー・アリンガムなど英米を主とする推理小説作家942人の作品を含んでいます。皆さんがこれまで借りられた洋書の中には、「中田文庫」が含まれていたかもしれません。その他、『劇場への招待』（1957）や『アメリカ・ラジオ・ドラマ傑作集』（1954）など、演劇、戯曲関係の図書も入っています。現在これらの資料については、貸し出し可能ですが、一部出版年が古い資料など、閲覧のみ可能という資料や貸し出しできない資料もあります。なお、『千葉県立中央図書館所蔵 中田耕治文庫目録』に書名、著者名が記載されていますので、文庫内の資料を探することができます。



<参考文献>

- ・『千葉県立中央図書館所蔵 中田耕治文庫目録』（千葉県立中央図書館 1983年3月）
- ・『千葉文化 No. 203』（千葉県立中央図書館 1983年3月）

トークイベント「バラの図鑑ができるまで」を開催しました。

令和3年10月31日(日)、県立中央博物館特別展「バラのすべて」連携事業としてトークイベントを開催しました。

自然写真家の大作晃一氏、バラ研究者の御巫由紀氏、分館海の博物館分館長の齋木健一氏の3名が登壇され、図鑑にふさわしいバラを探す苦労や、被写体全面にピントがあった写真を作る技法「深度合成」の紹介では、時には50ミクロンずつ調整して撮影することなど、貴重なエピソードを交えてお話していただきました。特別展に合わせ、図書館では関連ブックリストも作成しました



当日行ったバラの本の展示▲

「新千葉県立図書館・県文書館複合施設整備計画」が策定されました。



令和3年8月、県と県教育委員会は、千葉県の新たな知の拠点にふさわしい施設の整備を行うことを目的として、「新千葉県立図書館・県文書館複合施設整備計画」を策定しました。

文化情報資源を扱う機関との幅広い連携が可能な場所として「県立青葉の森公園はらっぱ付近」を建設予定地としており、県立中央博物館との更なる連携も期待されます。

浦安市立中央図書館

～ルポルタージュ千葉69～

浦安公園に面した一角に浦安市立中央図書館があります。県下屈指のこの図書館が、令和2年3月の大規模改修を経て生まれ変わりました。

新たなコンセプトは、「居心地の良い図書館」「出会いのある図書館」「可能性を開く図書館」の3つ。海辺の街らしく波と波紋が印象的なデザインです。カウンターでは、図書館職員が撮り溜めた市内の風景パネルが市民を出迎えます。

一般フロアには、広い芝生を眺めながら読書を楽しめる閲覧席が設けられました。隣接のワークスペースは、スライディングウォールと可動式の机が用意され、講座や展示発表など学びのスタイルに合わせて自在に姿を変えることができます。クリアなガラスの向こうで魅せる学びが、市民を新たな学びのサイクルへと誘います。静かに学びたい方向けにWi-Fi完備の学習室のほか、書庫棟にサイレントルームも用意されています。

子どものエリアには、絨毯に座ってゆったり本を読める“のびのびひろば”や授乳などができる“あかちゃんほっとすてーしょん”が作られ、一層優しい設計に。

大人も子どもも共にくつろげる学びの場です。



<利用案内>

〒279-0004

千葉県浦安市猫実 1-2-1

Tel 047-352-4646

開館時間

火～金：10時～20時

土・日・月・祝：10時～18時

休館日

館内整理日(毎月月末)、
定期清掃日(毎月第4月曜)、
特別整理期間、年末年始

<http://library.city.urayasu.chiba.jp/>